

平成 22 年度 事務事業事後評価調書 (平成 21 年度事業)

整理番号 8 - 25

1 事務事業の表示

: 該当

事務事業名		野ねずみ駆除事業					
評価者	担当課名	産業振興課		担当係名		林務係	
	管理職	職名	課長	作成者	職名	係長	
		氏名	石井弘道		氏名	辻栄浩二	
事業の概要		野ねずみの食害に弱いカラマツ等の幼令林を保護するため、殺鼠剤を空中より散布し、野ねずみの食害を未然に防止する。			全体計画 / 単年度繰返 (平成 20 年度 ~ 24 年度) 事業費 国・道支出 千円 地方債 千円 その他 千円 一般財源 550 千円 事業費計 550 千円		
実施方法		直営	民間委託	その他 (雄武町森林組合)			
第 5 期 総合計画 (前期)		登載事業	非登載事業	優先度	B		
事業の位置付け		政策目標	1 はつらつ・雄武 ~ 地域産業の振興 ~				
		基本施策	2 林業の振興				
		単位施策	1 生産体制の強化				
		事務事業の種類	自治事務	法定受託事務			
		その他計画・根拠等					
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(計画)	24年度(計画)	
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円	
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円	
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円	
	雄武町負担額 (一般財源)	110 千円	110 千円	110 千円	110 千円	110 千円	
	合計	110 千円	110 千円	110 千円	110 千円	110 千円	

121

2 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	民有林	望ましい指標 (目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)			
【抱える課題やニーズは】	カラマツ幼令林が、野ねずみによる食害を受ける。	自己負担の軽減			
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	野ねずみの食害を未然に防止	指標 (指標計算式 / 解説)	目標値及び実績値		
			目標年度	平成21年度	
			目標値		
			実績値		
		達成度	%		
【その結果、どのような成果を実現したいか】 成果 = 目的	人工林の健全な育成、森林資源の確保		目標年度		
			目標値		
			実績値		
			達成度	%	
内 容(どのような手段で何を行ったか)					
民有林の野ねずみ駆除事業に対する補助	薬剤散布に伴う森林所有者の費用負担が大きいことから、野ねずみ駆除事業費の一部を助成。				

3 事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか、当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要 / 概ね必要 / 課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	薬剤散布に伴う森林所有者の費用負担が大きいことから、事業費の一部を町が助成しなければ、事業の推進に支障が生じる。当該事業を実施しない場合、野ねずみの被害が拡大することが予想される。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効 / 概ね有効 / 課題あり	設定した目標値の達成状況	野ねずみによる樹木の食害が減少し、民有林の資源確保が図られた。
	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的 / 概ね効率的 / 課題あり	判断の理由	ヘリコプターによる薬剤散布は、道有林や管内の他市町村と連携して取り組んでおり、充分コスト削減に努めている。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平 公平 / 概ね公平 / 公平でない	判断の理由	対象となる事業を実施した森林所有者、全てを対象としている。また、森林所有者も応分の負担を伴っている。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input type="checkbox"/> その他	

4 総合評価【A～D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B:ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
民有林のカラマツ等の幼令林を保護するため、殺鼠剤を空中より散布し、野ねずみの食害を未然に防止するものであり、計画どおり事業を進めることが適当と判断する。		



継続 / 現状維持		
殺鼠剤の散布を実施することにより、野ねずみによる樹木の食害が減少し、民有林の資源確保が図られる。また、本町の林業生産力の向上に繋がる事業であるので、民有林事業の補助に関しては、現状維持が適当である。		

* 展開方向の区分

継続 / 現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 終了 休止 廃止

5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)